

新築物件に「電子投票」

ナイス コミュニティ 総会開催前提に

ナイスコミュニティ 総会開催を前提に電子投票に関するタイプ。1(本社神奈川、倉迫 益造社長)は11月1 出席通知・委任状・日、電子投票システム 議決権行使書に電子投票のQRコードを付 開票のグラント(本社 大阪、山崎元彰社長) け、区分所有者に送付 と電子投票に関する業 務委託契約を締結し 2014年8月完 成予定の「ナイスクラ ンソレイユ横濱綱島」 (110戸)で管理物 件初となる電子投票シ ステムを導入する。

は投票用紙記入で行 い、回収した投票用紙 のQRコードを読み取 り集計する。 区分所有 者はインタ ーネットに よる意思表 示が可能となり、総会 集計できるなど運営上 のメリットも期待され ている。 同社では受託管理組 合にも順次案内する方 など、丁寧に進めてい

大型マンションで議 決権が床面積比割合の アンケート機能もある ため、出席者の議決権 の電磁的方法に慣れ ている。 02年区分 所有法改正 で新設。集 会決議にお

「やがて社会のイ ンフラとなる仕組み。 電磁的方法による議 決権行使や決議の規定 は02年区分

初期導入費用は2万 円・年間利用料5万 円。

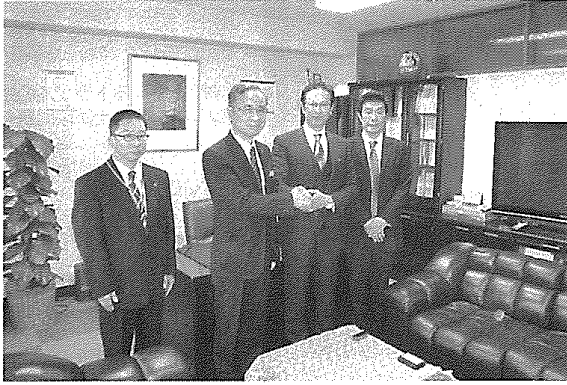
「情報がステ ャム課」と話す。 グラントが開発した 電子投票システム「e 投票シリーズ」は協同 組合等では導入実績が あるが、管理会社との 契約は初。「区分所有 者、管理会社双方にメ リットがある」(山崎 社長)としている。

「既存」にも順次案内 して新設。集 会決議にお

「やがて社会のイ ンフラとなる仕組み。 電磁的方法による議 決権行使や決議の規定 は02年区分

初期導入費用は2万 円・年間利用料5万 円。

「情報がステ ャム課」と話す。 グラントが開発した 電子投票システム「e 投票シリーズ」は協同 組合等では導入実績が あるが、管理会社との 契約は初。「区分所有 者、管理会社双方にメ リットがある」(山崎 社長)としている。



ナイスコミュニティの長谷川昌男常務(左から2人目)・電子投票システムに関する業務委託契約を結び、グラントの山崎元彰社長と握手を交わす